

県統計分析課が毎年作成している「100の指標でみる山口県」は、幅広い分野から全国比較の可能な100の指標を取り上げ、指標値と都道府県別順位を掲載しています。他の都道府県と比較することで、山口県が全国的に見てどのような状況にあるのか知ることができます。

指標をみる際は、その意味や作られ方、特徴を踏まえておくことが大切です。例えば、山口県の「出生率」は全国33位ですが、「合計特殊出生率」は12位です。どちらも子どもの出生数に関係する指標ですが、その意味と算出方法が異なるため、このように差が生じます。

出生率は、人口1000人あたりの出生児数の割合を表します。合計特殊出生率は、一人の女性が生涯に産む子どもの数を推計したもので、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。このように、指標の意味や算出方法を踏まえておくと、統計をより詳しく読み取ることができます。

「100の指標でみる山口県」は、統計分析課のホームページで公表しています。併せて、県内の市町を対象にした「50の指標でみる市町のすがた」も公表していますので、ともに山口県をもっと知るための資料としてご活用ください。いろいろな指標を組み合わせると、今まで知らなかった山口県のすがたが見えてくるかもしれません。

平成26年度版「100の指標でみる山口県」から

指標	全国 順位	指標値(※)		計 算 式
		山口県	全国	
出生率	33位	7.6	8.2	年間出生数÷平成25年10月1日現在人口×1,000
合計特殊出生率	12位	1.56	1.43	母の年齢別出生数÷年齢別女性人口 (15歳から49歳までの合計)

(※) 資料：平成25年厚生労働省「人口動態統計」